

JCBA

No.165 Mar. 2021

Japan Customs Brokers Association



CONTENTS

- 2 令和2年度第4回理事会を開催
- 3 女性通関士支援事業フォローアップ会議の開催
- 5 通関業会だより
- 8 いいときかく
- 14 各通関業会業務報告

令和
2
年度

第4回理事会を開催

令和2年度第4回理事会は、3月12日（金）に開催され、下記の3議案について審議され、全理事の同意が得られたことから可決されました。

また、各地区通関協会会長・理事長よりコロナ禍における現況報告と意見交換がなされました。

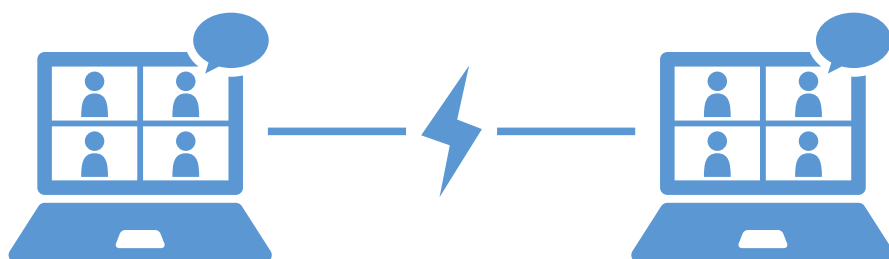
今回の理事会は非常事態宣言下での開催となったことからオンライン方式を併用しての開催となりました。

第1号議案 令和3年度 事業計画（案）に関する件

第2号議案 令和3年度 収支予算（案）に関する件

第3号議案 内部規程（部会及び委員会規程）の一部改正（案）に関する件

その他 各地区からの現況報告と意見交換



女性通関士支援事業 フォローアップ会議の開催

(一社)日本通関業連合会は、2月12日(金)の午後に「女性通関士支援事業フォローアップ会議」を開催しました。

今年度の女性通関士支援事業は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため Zoom を利用したオンラインでの開催といたしました。これまで「全国女性通関士会議」、「女性通関士支援ワーキンググループ」にご参加された女性通関士の方々及び女性通関士支援事業に関心をお持ちの皆様に参加をいただき、140名を超える多くのご参加となりました。

当日は、第一部として石井麻里様((株)カーゴニュース副編集長・編集部長)に講師をお願い致しまして「ウィズコロナ、ポストコロナの物流 ～通関業・通関士はどう変わる?」と題する講演を頂きました。

また第2部として、各通関業会の代表者による意見交換会を行い、これまでの女性通関士会議やWG活動の振り返り、また、コロナ禍における在宅勤務等の多くのご意見・ご感想を頂きました。コロナ禍により初めての大人数の参加によるZoom会議でしたが、大きな支障もなく、石井様の分かりやすく、内容の濃いご講演及び通関業会代表者による貴重なご意見等により、大変有意義な会議となりました。

石井様及び会議ご出席の皆様にはあつく御礼申し上げます。

会議の詳細は「いいこときかく」コーナーをご参照ください。

会議の開催にあたり、岡藤会長より開催の挨拶がありました。

岡藤会長ご挨拶



日本通関業連合会会長の岡藤です。

新型コロナウイルスの感染拡大により、リモートでの開催となってしまいましたが、全国から140名もの大勢の皆様にご参加をいただき、ありがとうございます。女性通関士支援事業に対する関心、期待の高さを、

改めて感じた次第です。ご支援に対して感謝申し上げます。

ご存じのとおり、通関業界では、近年従業員に占める女性の割合が年々高くなってきています。中には優秀な女性通関士等も大変多いと聞いています。女性通関士の活躍と登用を促進し、毎年優秀な人材が採用され、優秀な人材がキャリアアップを諦めることなく通関士として活躍できる業界、そんな業界を作っていく必要があるということで、連合会では、2011年2月、「全国女性通関士会議」を初めて開催しました。当時、物流業界としては画期的な取り組みであり、最先端を行く事業であったと聞いています。改めて、当時の連合会会長並びに役員各位の見識に敬意を表したいと思います。

全国女性通関士会議は、昨年まで毎年開催され、また、2013年度には「女性通関士支援ワーキンググループ」がスタートしました。これにより、女性通関士のネットワークが構築、拡大するとともに、仕事と家庭の両立問題等、個人レベルでしかなかった問題が業界の問題として共有化されたことは大きな進歩でした。中でも、女性通関士の意見が発端となって、通関士の在宅勤務が可能となる制度改正が実現したことは、誇るべき多大な成果であったと思います。今回、政府から新型コロナによる緊急事態宣言が発令され、在宅勤務に対する強い要請が出されましたが、コロナ禍の中、通関業が大きな問題もなく業務を処理出来たのも、女性通関士の意見があったからこそと思っています。業界を代表して感謝申し上げたいと思います。

昨年2月に開催された「全国女性通関士会議」及び「第3期女性通関士支援ワーキンググループ会合」において、『連合会の女性通関士支援事業を発展的に解消し、女性という枠に囚われない事業として再構築して欲しい』という要望をいただきました。事務局において検討を重ねて参りましたが、生憎新型コロナの感染拡大という事態に至り、新規事業も来年度からのスタートとなってしまいました。期待されていた皆さんには、大変申し訳ない気持ちで一杯です。事務局から各地区通関業会の専務理事には素

案をお示しさせていただいております。ご意見等がありましたら、遠慮なくお寄せいただければと思います。

本日は、女性通関士支援事業のフォローアップということで、女性通関士支援ワーキンググループの事務局を務めていただいた(株)カーゴニュースの石井さんにご講演をお願いしました。ご存じの方も多いかと思いますが、石井さんは、通関業だけではなく運輸、倉庫などの物流業界の事情に大変明るい方です。皆さんにとっても大いに参考になるお話が聴けるものと思います。

それでは、本日の講演、意見交換が実り多いものとなるよう祈念致しまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。

議事の概要

議 題：

① 女性通関士支援セミナー

【講師】石井麻里様

((株)カーゴニュース副編集長・編集部長)

【演題】「ウィズコロナ、ポストコロナの物流～通関業・通関士はどう変わる？」

② 意見交換会



新潟県の日本一と言えば、米（水稻収穫量）、酒（酒蔵数及び成人一人あたりの清酒消費数量）が有名で、中には離婚率（低い方です。夫婦円満？我慢強い？）というのがありますが、文化庁が毎年公表している宗教年鑑によれば、神社の数が日本で一番多い県は新潟県でありその数はなんと4,743社！ということで、実は神社県なのです。

新潟県に続いて多いのは兵庫県、福岡県、愛知県、岐阜県の順で、このトップ5県で18,638社となり、全国の神社の2割以上を占めております。

意外に思われるかもしれませんが、19世紀末頃まで新潟県は日本海側にありながら日本で最大の人口を誇る地域であり、農業人口も多く、米どころとして豊かな土地柄もあり、国内外の交通の要衝であった為、神社が多く造られたとのこと。

今回は、そんな日本で一番神社の多い新潟県の神社をいくつかご紹介します。

まずは、創建より2,400年を超える歴史を持ち、続日本後紀、日本三代実録、万葉集等にも記述の残る越後一ノ宮彌彦神社です。

所在地 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦2887-2



彌彦神社は古くは「伊夜比古神社」と記され、伊

夜日子・伊夜彦・彌彦などとも表記されましたが、現在は「やひこ」と言い習わされており、「おやひこさま」と親しまれています。

一般的な神社参拝の作法は「二礼二拍手一礼」ですが、彌彦神社では出雲大社及び宇佐八幡宮と同様拍手を四度打つ「二礼四拍手一礼」です。

彌彦神社の四拍手についての由来等詳細は不明ですが、より丁重に御神前を拝する心を表す作法として、代々の神職等が伝えてきたものだそうですので、ご参拝の際はぜひ「二礼四拍手一礼」をお願いいたします。

また、毎年11月には境内において菊祭りも開催されております。



なお、昨今収集をされる方が多い御朱印は結構シンプルです。



次にご紹介するのは、“はくさんさま”の愛称で親しまれている新潟総鎮守白山神社です。

所在地 新潟県新潟市中央区一番堀通町1-1



白山神社の主祭神は、菊理媛大神（くくりひめのおおかみ）（白山大神）、原初の夫婦神として知られる伊邪那岐命（いざなぎのみこと）及び伊邪那美命（いざなみのみこと）の3柱で、菊理媛大神は、伊邪那岐命と伊邪那美命が口論になった際に、仲直りさせたと言われています。この逸話から、菊理媛大神は“縁結びの神様”として信奉され、白山神社には恋愛成就を願う多くの参拝客が訪れています。



白山神社に隣接する白山公園は、池、築山、花木を配したオランダ風の回遊式庭園で、新潟市民芸術文化会館「りゅーとぴあ」、新潟県民会館、新潟県政記念館（旧新潟県会議事堂）などの文化施設を取り巻くように、6つの空中庭園とそれらを結ぶ空中

回廊が整備され、信濃川へも歩いていけます。春は桜、夏は蓮の花、秋は紅葉、冬は雪景色と四季を通じて美しい風景を堪能でき、新潟市民憩いの空間となっています。



飼い主を2回も雪崩から救助した名犬タマ公像



白山公園の造営を推進した第二代新潟県令楠本正隆の銅像

最後にご紹介するのは、高麗犬を廻して願掛けをする「願懸の高麗犬」があることで知られている港稲荷神社です。

所在地 新潟県新潟市中央区稲荷町3482



昔、花街の女性達が港から船乗りが出て行かないよう、高麗犬の向きを変え、荒天祈願をしていたことから、いつしかここには様々な願いを持った人が訪れる場所になりました。

全国にも例をみない回る高麗犬は、台座と像に軸を差し込み、像と台座との間に0.5センチほどの隙間を置くことで、回る構造になっています。願懸けは、男性は向かって右の高麗犬を、女性は左の高麗犬を、願い事を念じながら回し、所願成就を祈願するのが習いです。



向かって左の高麗犬

港稲荷神社のすぐそばには、旧新潟税関庁舎があります。

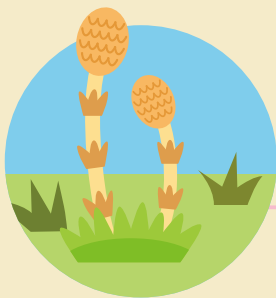


明治2年に建てられた庁舎は、開港5港当時の税関として現存する唯一の建物です。

地元の大工が西洋建築を見よう見まねで造った建物で、「擬洋風建築」と呼ばれています。一見すると洋風の建物ですが、多くが和風の技術で造られているところに特徴があります。



コロナ禍が収まり、新潟県を訪れる機会がございましたら、日本一神社の多い県＝神社県の神社及び周辺施設にも足を延ばしてみたいはいかがでしょうか。



いいこときかく

通関業界で働く人のためのネットワーク



全国女性通関士支援事業フォローアップ会議 開催報告

～2.12 約140名が参加



10年続いた全国女性通関士会議と女性通関士支援事業の区切りという位置づけで女性通関士支援事業フォローアップ会議が開催されました。

令和3年度にはダイバーシティ推進部会（仮称）の立ち上げが検討されていることから、今回の会議は、

- *これまでの女性通関士支援を総括
- *コロナ禍での物流業界を取り巻く現状の認識が会議の内容と決まりました。

第1部は、カーゴニュース副編集長の石井麻里氏による講演

第2部は、各地区通関業会推薦の女性通関士による自由意見発言で準備を進めました。

会議の開催が決定したとは言え、対面で集まれな
い以上、オンラインでの開催が余儀なくされたので、

準備と運営に不慣れな事務局は、心配の連続でした。しかしせっかくの機会なのでできるだけ多くの方に参加、関心を寄せていただけるような工夫を考えました。

オンライン開催のメリットは、余程の人数でなければ参加人数の制限が不要でご案内できることです。また後日配信もできることです。

今回は事前収録した講演を後日、動画配信することにしました。



準備

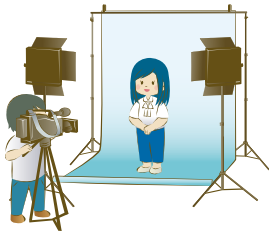
俗に使われているyoutubeをやってみようとなりました。

連合会事情として、プロに頼む時間はない、そもそも予算もない。

でもやると決めたので……調べる、しらべる、調べました。

ユーチューブとはなんでしょう？からのスタートでしたが、何をどうしたら、それらしくなるか大体わ





かったところで、登壇者の石井記者にご協力いただき収録しました。

仕組みそのものはわかったものの収録で苦労したの

は、光の反射でした。室内の蛍光灯、窓から入る日光のコントロールができませんでした。カーテンや暗幕などの用意がなかったので苦肉の策として、夜間に再度トライし、日光の影響は抑えることができました。

実際に公開した動画はこちら（公開期間は2月18日から1ヵ月）



当日

Zoomを利用して会議に参加いただいたのですが、皆さんスムーズに会議に入室していただくことができました。コロナ禍で公私共にZoom、teamsなどが急速に身近なツールとなっている印象を持ちました。



参加者側のトラブルがなくホッとしたのも束の間、講演会開始後に画面切り替えのトラブル発生してしまいました。（約1分間……）

原因は、想像するにネット環境が一瞬クラッシュを起こし、しばらくして復活したということのようでした。



第一部

石井さんの講演は、これまでの联合会における女性通関士支援事業の総括と激動のこの一年の状況や変化が網羅されたものでした。

講演資料抜粋

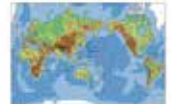
本日お話しすることのレジュメ

1. コロナ禍における物流
2. 荷動きと企業業績
3. 物流・サプライチェーンはどう変わったか？
（SCMの考え方／モノの流れ／働き方／非接触・非対面）
4. ポストコロナの物流はどうなるか？
（物流DXと規制緩和／脱炭素／サイバーセキュリティ）
5. 物流業界の女性活躍に向けて
（女性の就業実態／物流業界の女性活躍／WGの振り返り）
6. 結びにかえて～「バイオニア」としての通関業



1. コロナ禍における物流

- 「コロナショック」＝グローバリゼーションの時代のパンデミック
- ・人の移動で感染が全世界に拡大
- ・感染抑止のために世界的な移動抑制
- ・「自国第一主義」への傾斜（医療品輸出規制等）
- ・アンチグローバリゼーションへの反転



- 世界に広がる「分断」の連鎖
- ・格差や差別など潜在課題が浮き彫りに
- 「旅客」に比べ底堅い「貨物」需要
- ・「減少」しても「蒸発」はしない＝エッセンシャル
- ・コロナで際立った「社会インフラ」としての物流
- 物流は世界を「つなぐ」
- 物流によって世界との「つながり」を感じた（コロナ禍で物流が「止まらなかった」のは通関士の皆様のおかげ）



人々の生活に欠かせない生活に必要な物はほぼ普段通りに手に入れることができ、人々が、物流によって、世界と「つながっていること」を感じられたのではないかと思います。

3. 物流・サプライチェーンはどう変わったか？④

- 物流業界の働き方の変化
 - ・「運輸・物流業」のテレワーク実施率は16%（業種別で最低）
 - ・通関業者の約4割が在宅勤務を申請
 - ・物流にはテレワークできない職種も（不公平感のケアも必要だが、「現場」がなくなることはポジティブにもとらえられる）
 - テレワークを機に予測されること
 - ・「外注」の活用→管理者は要注意
 - ・「ジョブ型雇用」の導入
 - ・残業の減少による賃金の目減り
 - ・「副業」「ギグワーク」容認の動き
- 通関士の知識を活かした「スポットコンサル」の可能性も。「土業」独立の議論も現実味？（ただ、通関士の業務は「個人」で完結するの？）



通関士の仕事、通関手続きは、会社の通関士登録があって初めて行えるものですが、所属企業が副業を認めているのであれば、「空き時間」で通関の知識を活かした貿易アドバイスなどを行うことも考えられます。知的職種の高スキルなギグワーク、「スポットコンサル」のマッチングビジネスはすでに世の中に登場しています。

ところで、通関士の「土業」としての独立についてはこれまでも議論されてきましたが、コロナを機にニューノーマルな働き方が広がる中で、より現実味を帯びた議論となっていくかもしれません。一方で、通関業務ではダブルチェックなど「チームワーク」で業務を行っている会社もあり、土業として「個人」で完結できるものなのかという疑問もあります。

3. 物流・サプライチェーンはどう変わったか？⑤

- コロナで広がった「非接触」「非対面」
 - ・感染症対策×人手不足対策を同時に解決？
 - ・次期「総合物流施策大綱」の主要テーマに
 - ・宅配では「置き配」の浸透
 - ・トラック運行管理で対面点呼の規制緩和の議論も進展
 - ・Web会議システムを利用した税関への通関相談も
- 物流は本来「3視主義（現地・視物・現場）」が基本では？
 - ・効率性の追求だけでなく、「接触」「対面」の持つ意義を考える必要
 - ・「接触」「対面」で得られる情報は豊富（遠隔診療への懸念と同様）
 - 災害時などに柔軟に切り替えられる「選択肢」「デュアルモード」であることが重要（通関士の在宅勤務も利便性だけ追求すると本質を見失う）



「対面」「接触」、「現地・現物」の持つ意義も考え、自然災害やパンデミックなど非常時に柔軟に切り替えることができるデュアルモードとして位置づけるべきで、通関士の在宅勤務についても、単なる利便性だけを追求すると、本質を見失うことになりかねません。「通関士の社会的責任」は何かを考え、それを確実に遂行するための在宅勤務であるべきだと考えています。

4. ポストコロナの物流はどうなるか？①

- 「物流DX」は次期「総合物流施策大綱」の主要テーマに
 - DX＝単なる業務のデジタル化ではなく、デジタル化を通じて価値を創造し、社会やビジネスモデルを「変革」すること
 - ・「変革」の障害となる「規制」の排除が進む
 - ・「デジタル化」＝「規制緩和」（ほぼ同一に語られる）
 - 「デジタル化」と「規制緩和」はポストコロナの産業構造改革の両輪、物流分野（通関業を含む）にも波及する（貿易手続きの電子化の動き→通関業務も変わる？）



4. ポストコロナの物流はどうか？⑥

- 東証のシステム障害から物流が学ぶこと
- ・「止めない」と「(止まっても)復旧力を高める」ことが重要
- ・オペレーションの全自動化は災害時の停電リスクを伴う
- ・物流は「人」と「機械」のハイブリッドの余地が必要
- デジタル化で高まるサイバー攻撃リスク
- EC対応で「個人情報」に触れる機会が増加
- ・個人情報保護法改正で企業への罰金引き上げ
- ・不十分な対策は企業存続を揺るがすリスク
- ・情報セキュリティは重要な経営課題に
- 通関業務はエッセンシャルワーク、継続のため「ソフト」だけでなく「ハード」のセキュリティ強化が求められる



5. 物流業界の女性の活躍に向けて①

- コロナ禍で見えてきた「明るさ」とは
- ・DXでなくなる産業・業種はあるが「物流」はなくなる(DXはあくまでも「ツール」)
- ・DXによってサプライチェーンや新しいビジネスモデルを考えるのは「人」
- ・モノを動かす行為は機械やロボットが代替しても「物流」は残り、必ず「人」がそこに関与する
- 「変革」する物流業界で求められる人材の「多様性」
- ・女性の「課題発見力」「発信力」に対する経営トップの期待
- 通関業界で新たなビジネスモデル構築に向け女性の視点を活かそう



5. 物流業界の女性の活躍に向けて⑥

- ちょっと「女活(ジョカツ)」疲れしてませんか？
- ・「活躍しないとだめ？」「女性の冠はやめて！」
- 日本の防衛計画大綱改定
- ・「三人(無人・省人・婦人)の活用が議論
- ・国防で女性の能力(異能)発揮に期待＝物流業界も？
- ・女性の能力に対する社会の評価や期待を受け止める「素直さ」も大事
- 物流トップのコメント
- ・「男性は物流の課題を『仕方ないこと』と受け流しがちだが、女性は気付きも多く、そうした社員の意見は説得力も強い」
- 「多様で柔軟」＝「先進性」。女性が通関業界の変革をリードしてほしい



女性は物流業界ではまだマイノリティであり、そういう意味では「異能」(異なった能力)という位置づけにあります。女性という冠をうとうしいと感じることもあると思いますが、女性に対する「社会の期待や評価」を素直に受け止めてみることで、自分では気が付かなかった可能性に気が付くこともあるのではないかと思います。

繰り返しになりますが、ウィズコロナ、アフターコロナの激変の時代において、「異能」や「多様性」は変革のキーワードです。通関業界においても、新しいビジネスモデル、働き方、業界活動のあり方について、女性の「気づき」をぜひ発信し、変革をリードしていただけたらと思います。



石井さんから通関業界へ



7. 結びにかえて～「パイオニア」としての通関業

- 1970年代:NACCSIによる電算化に移行
- ・世界に誇る貿易情報プラットフォーム構築の立役者
- 2000年代:AEO制度への対応
- ・輸出者と並びAEO事業者数では最多となる勢い＝「サプライチェーンの競争力」かつ「国力」そのもの
- 申告官署自由化/営業区域制限廃止/料金自由化
- ・痛みを伴う規制緩和にものごころに対応
- 通関連の女性通関士支援事業
- ・物流業界団体で先駆けた取り組み
- 「デジタル化」「セキュリティ」「規制緩和」「女性活躍」等日本が抱える課題に先駆者としての知見活かし、さらなる存在感発揮に期待します



講演の後は

第2部 各地区通関業会代表者による 発言（意見交換会）

各地区からの代表者が発言しました。

発言した方からは、在宅勤務を実際に行っている上で、BCP対策や通関しながら業務ができる「有効性」や生産性や業務配分の「課題」があげられました。またワーキンググループ活動を経た思いとして、「女性の活躍は声を上げないと進まない」、「通関士の認知度向上が必要」などの意見が改めて出され、ネットを使った情報発信も提言されました。

始まってしまえばあっという間でした。チャット機能を利用した発信もいただきオンラインでの参加に慣れているご様子の参加者もいらして、とても心強く思いました。

参加者の声

愛知海運(株) 前川 可奈子 様

フォローアップ会議、お疲れさまでした。

石井さんのお話は、自分が見ている視点とは違うもので、ものすごく興味深く、且つ、勉強になりました。

もうちょっと深掘りして聞いてみたいくらいです。

通関実務ばかりやっていると、「森を見ず」という状況に陥りがちなので、こうした情報の収集やブラッシュアップは必要ですね。

本当に切にそう思いました。

各地区代表者の皆さん



(函館) (株)栗林商会
田畑 馨 様



(東京) (株)阪急阪神エクスプレス
片岡 照美 様



(大阪) (株)近鉄エクスプレス
合田 敏子 様



(名古屋) 三協(株)
戸川 美織 様



(横浜) (株)丸山運送
首藤 美紀 様



(神戸) (株)日新
長田 薫 様



(長崎) 鳥栖倉庫(株)
山口 秀美 様



(門司) 名港海運(株)
増崎 志百子 様

後日

「SNSを利用して通関士、通関業界の認知度向上活動を具体的にどのようにできるか?????」

をテーマにWGOG有志の皆さんからのご協力を得て、急遽Zoomによる意見交換会を行いました。

実はこのテーマは第3期WGの活動でも検討、提案していたテーマでしたので、意見交換は活発にできました。WGで活動していた時には「時期尚早」という言葉で日の目を見なかったあれこれが、いよ



いよ実行できるかもしれません。

その時は、WGOG有志の皆さんはじめ会員の皆さまご協力をお願いいたします。

* 令和3年度を前に *

全国女性通関士会議や女性通関士支援ワーキンググループの活動をする中で、昇進を果たしていく女性通関士が増えてきたことは、通関業界にとって大きな意味があることです。「女性管理職比率を3割に増やす」「新卒女性の割合を5割にする」「育休取得率15%増」などといった数値目標を設定し、女性活躍の成果として数字で示すことは、インパクトもパワーもあるので必要だと思います。ただ、そのことだけでは心もとないとも思います。これからダイバーシティ推進を掲げていく連合会が目指す姿は、女性の活躍をダイバーシティ推進の一部と捉える姿です。これが、女性という冠を取ることを望む声の言わんとすることだと理解しています。

「企業における真のダイバーシティ活動とは、多様性が生み出す人々の考え方や価値観の違いをいかに経営に活かすかである」の言葉の通りに、ダイバーシティはすべての方に関わる課題であることを令和3年度からは発信していくことになります。

超少子高齢化を迎え、それに伴う労働人口の減少という、これまで経験の無い状況に直面していること、コロナ禍から復活しなければならない事態を乗り越えるためにも「ダイバーシティ推進」事業にご参加とご関心をお寄せいただきますようお願いいたします。



各通関業会業務報告

東京

- 12月9日** 冬季役員昼食会・12月期役員会
11日 通関士部会委員会（WEB参加有り）
1月15日 通関士部会委員会（WEB参加有り）
20日 通関業会令和2年度会計監査（書面決議）
22日 通関士部会女性分科会主催WEBセミナー開催
タイトル：JETRO EPAセミナー
『FTA/EPAの最新動向と企業の最新活用例』
講師：JETRO 秋山 士郎氏
26日 通関士部会役員会（WEB参加有り）
29日 読売中高生新聞(キャリア特集)【シゴトビト：通関士】
「貿易手続き一手に」掲載（取材日：12月16日）

横浜

- 12月16日** 安全保障貿易管理説明会
12月期 横浜地区等管内通関協議会中止
1月12日 日本関地区通関協議会（オンライン配信）
25日 通関業会研修委員会

神戸

- 12月3日** 高知地区通関士との意見交換会（WEB会議）
10日 新居浜・今治地区通関士との意見交換会（WEB会議）
15日～16日 安全保障等説明会（WEB説明会）

- 17日** 小松島地区通関士との意見交換会（WEB会議）
21日 通関時報（12月号）発行
22日 神戸3地区通関連絡協議会との意見交換会（神戸通関業会研修室）
12月17日 在宅勤務開始（～2月5日）
19日～22日 通関士教養研修（web研修）
20日 通関時報（1月号）発行
21日 中国地方国際物流戦略チームヒアリング（web会議）
28日 通関士部会定例役員会（web会議）

大阪

- 12月1日** 通関業セミナー（薬事関連）
2日 通関士部会 和歌山地区協議会
9日 通関士部会 第60回業務委員会
// 通関士部会 第52回総務委員会
// 通関士部会役員会・税関担当官との連絡会
// 大阪地区通関協議会（税関との通関事務連絡会及び定例会・役員会）
1月27日 通関士部会 第61回業務委員会
// 通関士部会 第53回総務委員会
// 通関士部会役員会・税関担当官との連絡会（テレビ会議）
// 大阪地区通関協議会（税関との通関事務連絡会及び定例会・役員会）（テレビ会議）
28日 通関士部会主催研修「FTA/EPA活用支援RCEP発行も視野に」

名古屋

- 12月2日 一水会・理事会（理事・監事）
- 7日 年末特別警戒キャンペーン（稲永・金城・飛島）
- 8日 本関通関事務研究会
- 10日 通関士部会幹事会
- 15日 清水支部沼津通関懇話会
// 清水支部通関士部会支部定例会
- 16日 中部空港通関事務研究会
// 清水支部浜松通関懇話会
- 17日 西部通関事務研究会
// 清水支部通関事務研究会
- 22日 清水支部興津通関担当者連絡会
// 四日市支部通関士部会幹事会、通関事務研究会
- 24日 清水支部御前崎通関担当者連絡会
// 清水支部田子の浦通関担当者連絡会
【中止】

門司

- 12月1日 説明会募集案内「安全保障貿易管理及びNACCS外為法関連業務に関する説明会」
- 8日 会員周知「門司税関における年末年始の通関等の取り扱いについて」
- 14日 会員周知「フルフィルメントサービスを利用する貨物に係る輸入申告の留意点について」
- 18日 会員周知「行政手続等における押印原則の見直しに伴う各種要領等の取扱いについて」（農水省動物検疫所長事務連絡）
- 22日 会員周知「輸入承認証等識別コードの入力について」
- 23日 会員周知「自動車通関証明書の様式改正について」
- 1月5日 仕事はじめ

- 6日 会員周知「安全保障貿易管理説明会の中止について」
*コロナに関する緊急事態宣言発出のため講師の来福不能
- 15日 安全保障貿易管理説明会使用予定資料の配布
説明会出席予定者に経済産業省から入手した資料を送付
// 会員周知「新型コロナウイルスに係る周知事項について」
- 21日 会員周知「接触確認アプリのインストール・活用の周知について」
- 26日 会員周知「年度末に向けての資金管理対策」
- 28日 会員案内「通関士・通信添削研修受講案内」

長崎

- 12月2日 「年末特別警戒」への協力依頼
- 8日 NACCS新規事業「輸出入申告の訂正情報の提供」案内
- 11日 令和3年度関税率・関税制度等改正の関する答申の案内
// 日英EPAに関する関税法基本通達等の改正の案内
- 18日 動物検疫に関する押印省略の案内
- 21日 「港湾関連データ連携基盤」関連情報の案内
- 23日 自動車通関証明書の様式改正の案内
// 押印廃止に関する関税法基本通達改正の案内
- 25日 英EU通商協定合意の案内
- 1月7日 通関非違事例の案内
- 12日 「コロナ感染症対策の基本的対処方針」周知
- 22日 連合会「女性通関士支援事業（案）」案内

- 25日 連合会「年度末に向けての資金管理対策」案内
- 27日 連合会「通関士試験・通信添削研修」受講案内

函 館

- 12月1日 令和2年度バーゼル法省令改正等に関する説明動画について
- 3日 税関年末特別警戒の実施案内・情報提供依頼パンフレット配布
- 10日~11日 新任通関士及び通関従事者等講習会（合庁会議室）
- 11日 NACCS外為法関係業務・NACCS通関事務研修（NACCSセンター講師）
- // 安全保障貿易管理研修（経産省講師）
- 24日 NACCS外為法関連業務資料の会員配布
- 28日 会員周知；税関手続に係る押印等の廃止について
- // 通関業務連絡会（函館・小樽・千歳・札幌・釧路・苫小牧・石狩・八戸・秋田）メールによる通知
- 1月12日 会員周知；新型コロナウイルスに係る周知事項について
- 21日 女性通関士支援事業フォローアップ会

議参加希望案内

- 25日 税関からの情報提供のお願いについて（パンフレット配布）
- 26日 通関士試験・通信添削研修の案内
- // 通関業務連絡会（函館・小樽・千歳・札幌・釧路・苫小牧・石狩・八戸・秋田船川）メールによる通知

沖 縄

- 12月1日 沖縄地区税関からの令和2年年末取り特別警戒協力依頼を会員に通知
- 3日 令和2年度動物検疫実務講習会等の開催を会員に通知
- 11日 日英EPAについて沖縄地区税関がオンライン説明会開催
- 16日 NACCS九州事務所と当会事務所で意見交換
- 23日 1月開催予定の第18回那覇港利用促進会議がコロナ禍の影響で書面手続きに変更
- 1月5日 税関長並びに業務担当次長への当会三役の新年挨拶回り
- 29日 令和3年1月開催予定だった通関連絡会での税関からの業務説

お申込受付中

2021年度 通関士試験・通信添削研修

(一社) 日本通関業連合会

通関業者及び物流関連企業従事者の皆様へ

(一社) 日本通関業連合会は自信を持って本研修の受講をお勧めします。
最後まであきらめず、根気強く頑張る受講生を精一杯サポートします！

本研修の特色

- ★必要な科目を選択できる、自由なコース設定とリーズナブルな受講料
- ★経験豊富な講師が作成する、分かり易い教材と熱心で丁寧な指導
- ★好評の「通関士六法」、「問題・解説集」を教材として配付
- ★スクーリング、中間チェック講座、直前集中講座の受講は**無料**
- ★新入社員研修にも適しています
- ★スクーリング等はオンライン（録画配信）でも行う予定

◆研修期間：2021年4月12日（月）～9月30日（木）

通信添削研修の流れ

4月	上旬	◇第1回目 教材発送
5月	中旬～	◆第1回 スクーリング
6月	上旬	◇第2回目 教材発送
	中旬～	◆第2回 スクーリング 「第1回添削問題」提出締切
7月	上旬～	◆中間チェック講座
8月	上旬	「第2回添削問題」提出締切
9月	上旬～	◆直前集中講座
10月		第55回 通関士試験

◆受講料：・1科目：21,400円 ・2科目：31,600円 ・3科目：41,800円

◆受付締切：2021年4月9日（金）

※詳細につきましては、(一社)日本通関業連合会HPをご覧ください。

< <http://www.tsukangyo.or.jp/> >

<お申込・お問合せ>

(一社) 日本通関業連合会 研修事務局

☎: 03-6206-1086 (研修直通)

✉: kensyu@tsukangyo.or.jp



通関業者の書類保管の強い味方

貿易関連書類電子保管業務

NACCS-DMS®

NACCS-DMS®は貿易関連書類を電子データで長期的に保管できるサービスです。

活用方法のご紹介

NACCS-DMS®は様々なユーザー様の諸問題を解決することができます。

書類検索の諸問題を解決!!

通関業者様



通関関係書類を紙で保管しています。
荷主から数年前の通関関係書類を送って欲しいと頼まれると、保管している倉庫まで赴き、段ボールから探し出してきてスキャンしてメールで送付して、その後また倉庫まで赴き再度保管しているのですが、**倉庫までの移動や探す労力、何より人的コストが掛かりすぎて困っています。**



よく聞くお悩みですね。
そういうときは、**NACCS-DMS®を導入することで解消**することができます。

具体的には、紙の保管から電子書類保管に変更してNACCS-DMS®で保管すると、ご自身のPCにインストールされている**NACCSパッケージソフトから保管している電子書類のうち、必要な書類を即座に取り出し、電子ファイルをそのまま荷主様にメールで送付していただくことが可能**となります。そのため、倉庫までの往復や探し出すといった**手間の軽減**のほか**コスト削減**にも繋がります。

NACCS
センター



楽々検索

即時ダウンロード

NACCS-DMS®

人件費

移動時間

検索時間



※取扱量の少ない通関業者様に、割安な共同利用プランを
日本通関業連合会経由で申し込むことができます。

お問い合わせ先



一般社団法人日本通関業連合会 業務部
電話 03-3508-2535 / メール n-dms@tsukangyo.or.jp



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 営業企画部営業推進課
電話 03-6732-6130 / メール solution-pro@naccc.jp



詳しくは
NACCS掲示板を
ご覧ください

日本通関業連合会による「anew クラウドファクタリング」の紹介事業

- レ 売上はあるのにキャッシュフローに余裕がない
- レ 「輸入の際の関税・消費税の立替え」が負担に感じる
- レ 来月末に控えている荷主からの資金回収が不安だ

こんなご経験はありませんか？

日本通関業連合会は、anew（クラウドファクタリング事業を展開する OLTA と新生銀行が共同で運営する合併会社）と業務提携を結び anew が提供するクラウドファクタリングを通関業会会員向けに紹介しています。

anew のクラウドファクタリングは最短 24 時間でお手持ちの請求書を現金化できる「借りない資金調達」です。

これを機に円滑な資金管理、貸し倒れリスクの軽減のためにご検討されてはいかがでしょうか。



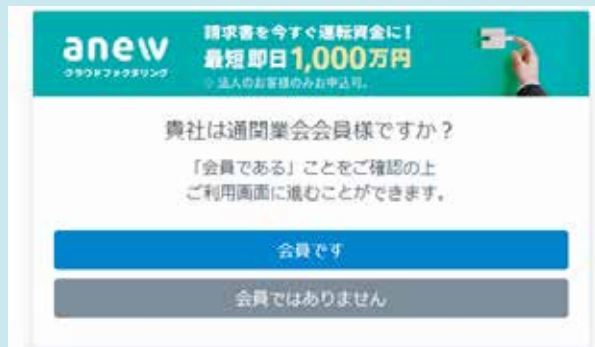
ご利用は連合会ホームページから <http://www.tsukangyo.or.jp/>

通関業会会員企業であることがご利用条件です



① バナーをクリック

② 通関業会会員確認画面に移動



③ 確認後 anew のHP画面に移動

※ ご利用にあたって一切のトラブル・損失・損害について、当連合会は責任を負いません。



「あらゆる情報を信用に変えあたらしい価値を創出する」という「anew」の理念が、常に立替金の未回収リスクがある通関業者に寄り添えるサービスと考えています。



発行所：一般社団法人 日本通関業連合会

東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8階

TEL: 03-3508-2535 FAX: 03-3508-7796

E-mail: jcba@tsukangyo.or.jp

URL: <http://www.tsukangyo.or.jp/>

編集兼発行人：池田 景光

※本会報からの転載については、あらかじめご連絡下さい。